令和5年度 第3学年 技術科(評価規準)

章・単元	学習活動	学習活動における評価規準			評価資料
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
<p>〈B 生物育成の技術〉</p> <p>(1) 生物育成の技術の原理・法則</p> <p>(2) 生物育成の技術による問題解決</p> <p>(3) 社会の発展と生物育成の技術</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生物育成の技術の目的を知る ・地域の特産物について。 ・作物の育成環境を調節する技術について。 ・作物の成長を管理する技術について。 ・作物の成長を管理する技術とその目的について。 ・家畜としての動物の利用方法。 ・動物を健康に育てるための技術。 ・水産生物を安定的に供給するための養殖の技術。 ・水産生物を健康に育てるための技術。 ・家庭、学校、地域、社会における生物育成の技術によって解決できる問題。 ・発見した問題を解決するための課題を設定。 ・安全に配慮し、成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行う。 ・生物育成の技術による問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考える。 ・持続可能な社会の構築のために、これからの生物育成の技術について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物を育てる技術の目的について理解している。 ・作物の育成環境を調節する技術について理解している。 ・育成環境を工夫してトマトを育成することができる技能を身に付けている。 ・作物の成長を管理する技術について理解している。 ・動物を健康に育てるための技術について理解している。 ・水産生物を安定的に供給するための養殖の技術や増殖について理解している。 ・植物の成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行う技能を身に付けている。 ・生物育成の技術の概念について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物育成の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。 ・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 ・育成する作物に適した環境条件について考えている。 ・育成する目的に合わせて、栽培計画を立てる力を身に付けている。 ・育成の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。 ・生物育成の技術の最適化について考えている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に生物育成の技術について考えようとしている。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。 ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。 ・自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。 	<p>ノート</p> <p>レポート</p> <p>ワークシート</p> <p>定期考査</p> <p>実技課題</p> <p>製作物</p> <p>課題への取り組み</p>
<p>〈D情報に関する技術〉</p> <p>(3) 計測・制御のプログラミングによる問題解決</p> <p>(4) 社会の発展と情報の技術</p> <p>統合的な問題解決</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにおける計測・制御システムとプログラムの役割 ・計測・制御システムの基本的な構成と情報の流れ。 ・計測・制御のプログラミングによって解決できる問題。 ・発見した問題を解決するための課題を設定し、解決策を具体化する。 ・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグを行う。 ・エネルギー変換の技術による問題解決の学習を生かして、自動化・システム化が実現するプログラムを制作する。 ・計測・制御のプログラミングによる問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考える。 ・情報の技術のプラス面、マイナス面について考える。 ・持続可能な社会の構築のために、これからの情報の技術について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計測・制御システムの基本的な構成を理解している。 ・計測・制御システムにおけるプログラムの役割を理解している。 ・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる技能を身に付けている。 ・情報の技術の概念について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 ・入出力されるデータの流れを基に、計測・制御システムを構想する力を身に付けている。 ・情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。 ・計測・制御システムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する方法について考えている。 ・情報の技術の最適化について考えている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に情報の技術について考えようとしている。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。 ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。 ・自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。 	